

「キャッシュレス経済」の理解を深めるための4つの論点

論点1：自己紹介(10分)

キャッシュレス決済について普段感じていることなどを話しながら自己紹介をしてください

- ✓ お名前、ご職業
- ✓ このテーマに興味を持った理由
- ✓ なぜモバイル決済を利用するのか？もしくは利用しないのか

論点2：消費者の視点(15分)

本書にも著述があるとおり、アマゾンやアリババは自社の経済圏拡大を目的に消費活動における決済データの収集に力を入れています。消費者としての観点から決済データを収集されることについてどう思いますか。また時間があれば日本でキャッシュレス決済が遅れている要因を話し合ってみてください。

(議論の視点)

- ✓ データ提供による個人のリスクは
- ✓ データ提供の対価に何を要望するか

論点3：日本におけるキャッシュレス決済(20分)

アマゾン、アリババ、アップルなどを筆頭にグローバルメガIT企業が世界中でキャッシュレスを推進しています。仮に日本国内のキャッシュレス決済のスタンダードがグローバル企業の手がけるキャッシュレス決済となった場合を想定してください。仮にそのような時代を迎えた時の日本経済のリスクは何でしょうか。様々な側面からリスクを洗い出してみてください。

- ✓ 決済データと非決済データの相違
- ✓ 小売業やIT企業だけではなく、他業界にもどのような影響があるのか

論点4：ビジネスモデル(25分)

本書では今後15年にわたり決済領域が未来をかけた激しい戦いの場になると書かれています。

日本の大手EC企業が、アマゾンやアリババなどのメガ企業と相対して、国内及び海外でも互角に戦い利益を生み出すことを念頭に置き、日本の大手EC企業の未来に向けたビジネス戦略・戦術をなるべく具体的に立案して発表してください。

(アイデア出しのポイント)

- ✓ ビジネスモデルは変革するのか
- ✓ 利益の源はどこか
- ✓ 海外の主要マーケットはどこか
- ✓ どの分野に投資をするのか etc